

定例会議会議録

開催日時	令和3年1月13日(水) 午前10時00分～午前11時50分
開催場所	公安委員会室、特別会議室
区分	『全体会議』議題・要旨
【報告事項】	<p><b>1 令和3年宮城県警察基本目標の策定について</b></p> <p>総務部長から、「令和3年宮城県警察基本目標について、刑法犯認知件数は10,197件(令和2年刑法犯認知件数)以下、交通事故死者数は50人以下を目標とする。刑法犯認知件数の数値については暫定値であり、実際には確定値とする。」旨の報告があった。</p> <p>生活安全部長から、「刑法犯認知件数の抑止目標について、「新・宮城の将来ビジョン実施計画」において、令和6年までの刑法犯認知件数の抑止目標を「令和2年の刑法犯認知件数以下」と設定している。令和2年は、過去最少件数を更新するペースで推移しているところ、コロナ禍による流動的な社会情勢の中、本年の治安水準を悪化させないことが警察の責務であることから、最新の治安指標となる「10,197件(令和2年刑法犯認知件数)以下」を基本目標に設定する。」旨の報告があった。</p> <p>交通部長から、「交通事故死者数の抑止について、令和2年は56人以下としていたところ、取組結果は44人(対目標比-12人)であった。「第10次宮城県交通安全計画」では令和2年までに年間死者数56人以下にすることを基本目標に設定しており、平成29年及び平成30年の2年連続で目標を達成し、最終年である令和2年は44人と目標を達成した。令和元年までの5年間(平成27年から令和元年)の交通事故死者数の平均は61.8人であり、その前5年間(平成22年から平成26年)と比較して19.1%減少しており、今後も減少幅を維持したと仮定した場の5年後の平均は49.99人となる。令和3年の交通事故死者数の抑止目標については、同数値を目安として、平成29年の交通事故死者数51人よりも低い「50人以下」を基本目標に設定する。」旨の報告があった。</p> <p><b>委員：目標の数字については、それぞれの部門において検討した結果なので、これでよろしいと思う。年間とは別に月次の目標はあるのか。</b></p> <p><b>生活安全部長：月ごとの目標はないが、刑法犯認知件数については、月ごとに統計をまとめ、担当係において前年や前月との比較を行い、また、四半期ごとに協議し、今後の取組について各部門で連携し、目標にあうような管理を行っている。</b></p> <p><b>交通部長：部内に示しているものはないが、月ごとに交通事故死者数の増減というものが、その時期によってあることを踏まえ、単月はもちろん、四半期ぐらいのスパンで、ある程度の目安を持ちながら、目標を達成できるよう業務を進めている。</b></p> <p><b>2 年末年始における雑踏警備実施結果について</b></p> <p>地域部長から、「令和2年12月31日から令和3年1月3日までの間、神社仏閣や行楽地等における初日の出参拝等警戒を、計103か所、警察官延べ1,138人が対応し雑踏警備を実施した。新型コロナウイルス感染症対策に伴う分散参拝及び寒波と降雪の影響から参拝者が大幅に減少し、また、大きな事件事故等の取扱い等もなく無事終了した。」旨の報告があった。</p> <p><b>委員：今回は人出がかなり減るだろうと予想していたと思うが、警備体制が例年どおりだったのはなぜか。</b></p> <p><b>地域部長：コロナ禍にあり、距離をとるため列が後方に伸び、歩道などに交通障害が生じないように、長めに配置をつけたりしたことで、例年と同じ規模の体制で配置を行ったものである。来年は、今年の配置、体制を参考に検討する。</b></p>

### 3 柴田郡柴田町北船岡地内における高齢夫婦被害にかかる殺人・殺人未遂事件被疑者の逮捕について

刑事部長から、「令和2年9月11日に柴田郡柴田町北船岡地内において発生した高齢夫婦被害に係る殺人並びに殺人未遂事件については、被疑者の早期検挙、事件全容の解明に向け、発生の翌日となる12日に大河原警察署に殺人事件捜査本部を設置し、現場の鑑識活動や犯人に結びつく情報収集等を強力に推進した結果、被疑者が浮上し、所要の捜査を遂げ、令和3年1月7日に愛知県居住の土木作業員を、翌8日に亘理郡山元町居住の会社員を、殺人並びに殺人未遂事件の被疑者と特定し逮捕した。今回の事件は、SNSを介した囑託殺人事件であり、今後は、被疑者の取調べを鋭意推進し、様々な捜査を展開した上で、原因、動機等の事件の真相究明を図っていく。」旨の報告があった。

**委員：**解決が難しい事件で、手がかりも中々見つからない中、休日を返上し、検挙に結びつけてくれた現場の担当者に対して敬意を表したい。

SNSを利用した重要な事件に、どのように対応していけばいいのか大変難しいと実感している。

**刑事部長：**本県においても、首都圏から闇バイトとして学生等が来県し、強盗事件に及んだ事件もあり、今後も同種案件の発生が懸念されるころではあるが、他部門と連携をとり、サイバーセキュリティ対策なども講じ、抑止対策、検挙活動を行っていく。

### 4 令和2年中の交通事故発生状況について（人身事故速報値）

交通部長から、「令和2年中の県内の人身交通事故は4,487件（前年比-1,188件、-20.9%）であった。平成25年から8年連続で減少しており、統計の残っている昭和40年以降最少となった。また、交通事故死者は44人（同-21人、-32.3%）で、戦後最少の記録となった。交通死亡事故の主な特徴としては、正面衝突等車線逸脱による事故の死者が19人（同-16人）で、全交通事故死者数の約4割を占めている。高齢者の死者数は減少したが、全交通事故死者数の約5割を占めており、高齢運転者が第一当事者となった事故の死者数は増加し、全交通事故死者数の約3割を占めている。今後は、夏期の七夕運動における集中的な抑止対策に加え、年間を通じた速度抑止に向けた街頭活動や道路管理者と連携した交通環境整備を推進することにより正面衝突等車線逸脱事故の抑止を図るほか、高齢者交通事故防止対策を推進していく。」旨の報告があった。

**委員：**今年の4月1日から自転車安全利用条例が施行されるが、この条例遵守にあわせて、さらに交通事故死者数を「50人以下」に抑えるためには、交通ルールの遵守や交通マナーの向上のための運動化や環境作り、その啓蒙啓発を地域に委ねることがとても大切だと感じている。

**交通部長：**交通ルールと交通マナーの向上については、先般のJAFによる信号機のない横断歩道実態調査の件もあるほか、今年4月からの自転車安全利用条例の施行に向け、春の交通安全運動時期の前からその広報啓発等に関して取り組んでいく。

### 5 制服実務研修の実施及び卒業式の挙行について

警察学校長から、「制服実務研修は、初任科第100期短期課程の学生9人（男性9人）に対し、警察署における地域警察業務を研修させ、実務を通じて警察業務を理解させるとともに、職責を自覚させることにより、以後の初任科教養をより効果的に推進することを目的に実施している。研修中は、担当指導員の指示・指導の下、基本勤務（立番、見張、在所、警ら及び巡回連絡）のほか、現場処理の補助的な活動や各種届出の受理要領等を研修させることとしている。今後も、感染症対策と充実した初任教養の両立を図りながら学校運営を推進していきたい。

次に、初任科第99期長期課程の卒業式については、令和3年1月28日午前10時から、宮城県警察学校アリーナにおいて行われる。出席者は、卒業生50名、卒業生の家族、来賓、本部長及び警察学校職員等である。」旨の報告があった。

**委員：初任科第100期の平均年齢は高いのか。**

**警察学校長：最高年齢としては33歳の者がいるほか、社会人経験者もおり、家族がいる者もいる。**

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』
<p><b>【 決 裁 事 項 】</b></p>	<p><b>1 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等</b> 交通聴聞官から、運転免許取消処分に係る意見の聴取等の結果、14件の報告と説明がなされ、審議の上、量定が行われた。</p> <p><b>2 審査請求の受理について</b> 監察課長から、運転免許取消処分に係る審査請求の受理について説明がなされ、審議の上、決裁が行われた。</p> <p><b>3 警察職員の援助要求について</b> 警備課管理官から、警察職員等の援助要求について説明がなされ、審議の上、決裁が行われた。</p> <p><b>4 警察職員の援助要求に対する同意について</b> 警備課管理官から、警察職員等の援助要求に対する同意について説明がなされ、審議の上、決裁が行われた。</p>
<p><b>【 報 告 事 項 】</b></p>	<p><b>1 行政訴訟事件の終結について</b> 監察課長から、運転免許停止処分取消請求事件に係る行政訴訟事件の終結について、報告があった。</p>